

各種新聞圖解の内
東京日々新聞

第四百九拾八号

千東の里に 出稼乃、煙花不沈む
 苦中ふも樂しむる 情郎ハ某と
 つゝ士族 ち我儀ね別ハ鶏鐘を托
 つ往昔引うて 解放みるハ籠
 羽鳥比翼の 翅うち重以連理乃
 手ハ手組携 浅草邊ふ至らん
 情夫の脱たる 洋服を戲み着る男
 小装ち 遊歩をギ 折しも官吏ハ
 會て咎えらる 傍乃茶亭ふ立寄る
 用意ハ持セ 井慶乃小袖を出
 て着換へ 千人切の牛若ガ
 女姿ハ優なら 大きく重き違
 式と云、知ら下犯すも鄙賤き娼妓
 罪此何なる事と云不辨ハ憫むべし又
 笑ふべし

樽々堂鈍々記



画工鮮齋
作者樽々堂
國元佐井屋

